

平成30年度における就労準備支援事業の取組

昨年度からの課題	今年度の取組計画	平成30年度実績（平成30年12月末時点）
<p>◎就労準備支援事業の利用に向けた支援について</p>	<p>◎自立までのステップアップにかなりの時間を要するため、社会資源の活用を図り、きめ細かな支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『ひょうご発達障害者支援センター「クローバー」 芦屋ランチ』との連携を強める。 ・『阪神南障害者就業・生活支援センター』と協働で面接練習を実施する。 ・阪神南障害者就業・生活支援センターと協働で実施の“就労グループセッション”に加え、在職者交流活動“就労サロン”も実施する。 ・対象者のニーズに応じて、多種多様な支援メニューに取り組む。 	<p>◎社会資源の活用を図り、きめ細かな支援につなげた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「クローバー」との連携を強め、そのアドバイスをともに支援に結びつけた。 ・“就労グループセッション”に加え、“就労サロン”と“面接練習”の実施。 ・支援メニューのプログラムの多様化を図った。
<p>◎潜在的な対象者について</p>	<p>◎総合相談窓口のみならず、関係機関との連携を強め、潜在的な対象者の把握に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自立相談支援事業への関わりをさらに積極的に行い、連携を強める。（定例支援調整会議・事例検討会への参加。） ・自立相談支援事業の就労支援に初期の段階から関与する。 ・『阪神南障害者就業・生活支援センター』への就労相談のうち、障がい者手帳を所持していない相談者への支援に積極的に関わる。 ・就労準備支援事業の支援メニューの周知を図る。（支援メニューの一覧を作成、丁寧な説明を行う。） ・福祉センター総合相談連絡会の機関紹介で、就労準備支援事業の紹介を行う。 	<p>◎関係機関との連携を強め、潜在的な対象者の把握に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定例支援調整会議・事例検討会への参加。 ・自立相談支援事業の面談に同席し、就労支援を行った。 ・障がい者手帳を所持していない相談者への支援に積極的に関わった。 ・就労準備支援事業のチラシを作成し、支援メニューの周知を図った。 ・総合相談連絡会で、就労準備支援事業の紹介を行った。
<p>◎社会的孤立等の状態にある人への支援について</p>	<p>◎ひきこもり状態の人を支援するにあたっては、継続的な個別支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若者相談センターアサガオの親の会とも連携を強化する。 ・訪問支援（アウトリーチ）等による早期からの継続的な個別支援を実施する。 	<p>◎引きこもり状態の人を支援するにあたって、継続的な個別支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若者相談センターアサガオの親の会に参加した。 ・アサガオの親の会で把握した、ひきこもり状態の子への家庭訪問を継続的に行った。